

令和7年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」（事務事業点検シート）

課等名： 保健推進課

シート No.： 17 作成日： 2025.5/8

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後 期 基 本 計 画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 生涯にわたり市民の健康を守り、育む	誰もが安心していつでも必要な医療が受けられる環境づくりが重要であり、休日夜間の医療体制を整える必要があります。 休日夜間の医療体制を強化するためには、地域内の医療機関との連携が必要です。地域の医師会や病院と協力し、休日や夜間に勤務する医師の確保、医師の勤務環境を改善し働きやすい条件を整えることも医療従事者の確保につながります。市では地域医療体制に対する運営費を支援しています。	本市には子どもの発達診療や検査ができる医療機関がないため、発達相談や近隣市の医療機関の新規診療も半年から一年待ちの状況です。子ども一人一人の個性に合わせた教育や支援が早期に開始できるように、令和7年4月にきぬ医師会病院小児科内に小児発達外来を開設しました。 専門医の問診や観察・検査を通じて発達の状況を把握し、子どもの発達障害を早期発見し適切な支援に繋がります。
	施策	2 医療		
	施策内容	地域医療体制の充実		
	その他、根拠法令及び分野別計画等	茨城県救急医療体制、常総地区市町との協定、健康じょうそうプラン		
事務事業名	地域医療体制確保			

② アクティビティ（活動・事業）とアウトプット（結果）

③ インプット（投入）

アクティビティ（活動・事業）		アウトプット（結果）			R7 予算額	R7 決算額
活動名・事業名 （対象年）	R7 活動・事業内容	指標（単位）	R7 目標値	R8 目標値		
			R7 実績値	R9 目標値		
救急医療体制情報の充実 一次救急 (R7・8・9)	きぬ医師会病院に休日夜間急患センター運営費を補助し、365日24時間体制での救急医療体制を確立し、市民の急な疾病時にも適正な医療サービスを提供しています。	（医療機関） ・きぬ医師会病院	1	1	20,000 千円	千円
救急医療体制情報の充実 二次救急（常総地域） (R7・8・9)	常総地域病院群輪番制病院運営事業費と小児救急医療支援事業費を補助し、二次急患医療体制を確立し、適正な医療サービスを提供しています。	（常総地域：構成市町） ・常総市（水海道地区）・取手市・守谷市・つくばみらい市・利根町	5	5	5,588 千円	千円
救急医療体制情報の充実 二次救急（茨城西南） (R7・8・9)	茨城西南地方広域病院群輪番制病院運営費と小児救急医療支援事業運営費を補助し、二次急患医療体制を確立し、適正な医療サービスを提供しています。	（茨城西南：構成市町） ・常総市（石下地区）・下妻市・坂東市・古河市・八千代町・境町・五霞町	7	7	2,742 千円	千円
きぬ医師会病院 小児科運営事業 (R7・8・9)	きぬ医師会病院の小児科に従事する医師や看護師の給付の一部を補助し、小児科医療体制の充実を図ります。	（医療機関） ・きぬ医師会病院	1	1	6,000 千円	千円
きぬ医師会病院小児科神経 発達外来運営事業 (R7・8・9)	R7年度にきぬ医師会病院の小児科内に「小児発達外来」を開設することで、早急に子どもの発達相談や医療機関への診療ができるようになります。	（医療機関） ・きぬ医師会病院	1	1	3,640 千円	千円
産婦人科開設支援事業 (R7・8)	R5年2月寺田医院の産婦人科開設に係る借入金の利子を、3年間総額5,000千円を限度に補給するものです。（2年目）	（医療機関） ・寺田医院	1	1	1,055 千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム（成果）

指標名	目標値	R7 実績値
救急対応医療機関の充実	100%	
発達相談時に受診勧奨された子どもの受診率	100%	

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地			
	☐ コスト	☐ 活動	☐ 成果	☐ その他
	今後の方向性			